

## 1. 2007 年度の会長決まる

日本機械学会（今期会長は 笠木伸英 東京大学 教授）の次期の会長に、  
石川島播磨重工業（株） 主席技監 齋藤 忍（さいとう・しのぶ）が内定した。

2007 年 4 月 6 日（金）にアルカディア市ヶ谷（私学会館）で開催される第 84 期通常総会後に就任する。

会 場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）  
（東京都千代田区九段北 4-2-25, TEL 03-3261-9921, JR 市ヶ谷駅徒歩 5 分）  
開催日時：2007 年 4 月 6 日（金）15 時 20 分～17 時 20 分

URL: <http://www.jsme.or.jp/0704060m.htm>



## 2. 2006 年度日本機械学会賞決定

2006 年度日本機械学会賞として、日本機械学会賞（技術功績 3 件，論文 16 件，技術 8 件），日本機械学会奨励賞（研究 20 件，技術 20 件），日本機械学会教育賞（5 件）の受賞を決定した。受賞式は上記通常総会にて開催されます。なお、日本機械学会奨励賞は 35 歳以下の若手技術者を対象に設けられた賞となっています。

会 場：上記同一会場（アルカディア市ヶ谷）  
開催日時：2007 年 4 月 6 日（金）15 時 20 分～17 時 20 分

## 3. 総会特別企画・企業大集合 「モノづくりにかける思いを熱く語る！」

日本機械学会では、上記開催の通常総会にあわせて、総会特別企画・企業大集合 「モノづくりにかける思いを熱く語る！」を開催いたします。日本のモノ作りの空洞化や競争力の低下を懸念する状況として、成長志向社会から持続型社会への変革，少子高齢化に伴う技術継承の危機，グローバル化の進展などがあげられます。

こうしたなか日本の産業力復活に向け、なお一層の技術と学術の融合を目指し、技術経営戦略や国際競争を取り巻く環境、産学連携への取り組み、学会への期待などについて日本のモノ作りを代表する元気のいい企業の方々からご講演を頂きます。たくさんの方の参加をお待ちいたします。

会 場：上記同一会場（アルカディア市ヶ谷）  
開催日時：2007 年 4 月 6 日（金）10 時 45 分～15 時  
講演者（講演順）

（株）東芝 研究開発センター 首席技監 久保田裕二氏  
日産自動車（株） 執行役員 総合研究所長 久村春芳氏  
三菱重工業（株） 取締役 常務執行役員技術本部長 青木素直氏  
（株）村田製作所 取締役常務執行役員 研究開発センター長 坂部行雄氏  
ファナック（株） 代表取締役社長 稲葉善治氏  
（株）ハーモニック・ドライブ・システムズ 精機本部 本部長 清沢芳秀氏  
入場料：無料（参加人数確認のため、総務 Gr 宛 FAX 03-5360-3508 か、E-mail: [general@jsme.or.jp](mailto:general@jsme.or.jp) でお申込み下さい。）

詳細はホームページをご参照ください。  
URL: <http://www.jsme.or.jp/0704060m.htm>

## 4. 機械工学便覧 全面改訂について—既に22分冊が刊行—

機械工学便覧 (JSME Mechanical Engineers' Handbook) は、1934年に初版刊行以来、今日まで実に約3/4世紀、その間、計7回の改訂によって、質、量ともに時代に応じた充実をはかりつつ、わが国の機械工学/工業の発展に対して大きな寄与を果たして来たという栄光ある歴史を持っています。

新版 (1987年にA, B編, 1989年にC編) を発行してから18年以上が経過して、この間の科学技術の急速な進展と社会情勢の変化、機械工学の担当分野の拡大に鑑み、また会員よりも便覧改訂を希望する声が数多く寄せられたため、今般の全面的な改訂作業に至りました。

今回の新しい機械工学便覧は、基礎編 (α編)、デザイン編 (β編)、応用システム編 (γ編) の3編より構成するとともに、特に機械工学の分野の学際的な拡大に適応するために、6編を新設した他に、他編でも内容/区分については全面的に見直しを行いました。また、基礎編は技術者/学部教育の基礎段階に、デザイン編の多くは専門技術教育に、さらに、応用システム編は工学/技術の実務面での自己革新に役立つことも意図しています。座右の書としてご利用下さい。



URL: <http://www.jsme.or.jp/kanb001.htm>

## 5. 日本機械学会にマイクロ・ナノ工学専門会議

【<http://www.jsme.or.jp/mnm/>】

日本機械学会は、あらたに分野横断的・新領域対応型研究活動組織として、「マイクロ・ナノ工学専門会議」を設置した。同種の組織としては「法工学専門会議」に次いで2番目のものである。

近年、マイクロメートル、ナノメートルの領域における工学・理学が世界的に急速な進歩を示している。この領域の技術は、情報・バイオ・メディカル機器など、成長・拡大が期待される新規産業の基幹技術であり、機械工学が主体的に寄与すべき緊急の課題である。当学会の全20部門の中で、すでに、このような研究・開発に関わっている会員は少なくない。しかし、在来の部門内での活動は学会の外から見えづらく、また、部門間の情報交流は必ずしも十分でなかった。

そこで、あらたに分野横断的・新領域対応型研究活動組織として、「マイクロ・ナノ工学専門会議」を設置した。設置期間は2006年12月から2011年11月までの5年間である。20部門中12部門から運営委員が選出され、部門をまたいだ形で研究集会の企画、論文誌出版などが検討される。また、この領域では、電気学会、精密工学会、化学工学会など他学会でも関連研究者・技術者が活動していることから、国内他学会との連携を積極的に進めることをめざしている。将来に渡ってどのような組織形態でこの領域の活動を発展させるかについても、この組織で検討される。

当学会における主な関連分野と技術内容は以下の通りである。

1. 精密機械・潤滑・設計分野：ストレージ、ナノトライボロジ、位置決め、計測
2. 材料力学・強度分野：薄膜の強度と信頼性、マイクロ・ナノ材料の特性の寸法効果
3. 流体力学・熱工学分野：高クヌッセン数流れ、マイクロ化学分析器、パワーMEMS、マイクロ燃料電池、マイクロバブル
4. 生産加工分野：MEMS系マイクロマシニング、機械系マイクロ・ナノ加工技術
5. ロボティクス分野：バイオマニピュレーション、センサ・アクチュエータ

組織の発起人は名古屋大学工学研究科の佐藤一雄教授、専門会議初代委員長は京都大学工学研究科の小寺秀俊教授である。(文責：佐藤一雄)

問い合わせ先  
 京都大学  
 大学院工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻  
 小寺秀俊 Tel: 075-753-5861 Fax: 075-753-5291  
 E-mail [kotera\\_hide@me.kyoto-u.ac.jp](mailto:kotera_hide@me.kyoto-u.ac.jp)

### プレスリリース担当

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地  
 信濃町煉瓦館5階

社団法人 日本機械学会  
 学会運営部門 会員・情報管理グループ  
 広報担当 野口 明生  
 TEL: 03-5360-3503, FAX: 03-5360-3508  
 E-mail: [noguchi@jsme.or.jp](mailto:noguchi@jsme.or.jp)